



神戸市室内管弦楽団コンサートマスターに高木和弘が就任 4月10日(土曜)「第149回定期演奏会」で就任披露

2018年3月以降、不在であった神戸市室内管弦楽団のコンサートマスターに高木和弘が就任します。
4月10日(土曜)に神戸文化ホールで開催する「第149回定期演奏会」が就任披露公演となり、2021年度、全ての定期演奏会に出演予定です。

就任についてぜひ取材にお越しいただき、貴媒体でご紹介いただけますと幸いです。

1. プロフィール



高木和弘
(たかぎ かずひろ)

6歳よりヴァイオリンを始め、国内外で数々のコンクールに優勝及び入賞を果たす。主な賞歴としては1997年度ブリュッセルで行われたエリザベート王妃国際コンクール入賞、1998年ジュネーヴ国際コンクール第3位(1位なし)などが挙げられる。国内では、2005年度文化庁芸術祭新人賞、大阪文化祭賞大賞受賞、2007年度第19回ミュージック・ペンクラブ音楽賞オーディオ部門録音作品賞を受賞と、その芸術家としての認知と評価も非常に高い。国内外のオーケストラとのソリストとしてもこれまで大阪フィルハーモニー、大阪交響楽団、関西フィルハーモニー、日本センチュリー交響楽団、東京交響楽団、ベトナム国立響、ヴェルテンベルグ・フィルハーモニーなどとの共演も多数ある。近年、日本で最高権威を誇る日本音楽コンクールの審査員としても度々招かれている。また、サミット・ミュージック・フェスティバル(ニューヨーク、アメリカ)など国内外の講習会などにおいても講師として招かれるなど、後進の指導にもあたっている。これまでに和波孝禧、森悠子、エドワ

ード・ウルフソン、エドワード・シュミダーの各氏に師事。現在、長岡京室内アンサンブルメンバー、ダラス室内交響楽団コンサートマスター(ダラス、アメリカ)、いずみシンフォニエッタ大阪メンバー、A Hundred Birdsのヴァイオリニストとしても演奏活動を展開中。使用楽器は株式会社シーエヌコーポレーションエイフクより貸与された1739年製サント・セラフィンである。

2. 2021年度出演公演

公演名	日程	曲目
第149回定期演奏会	4月10日(土曜)	C.P.E.バッハ: シンフォニア 第1番 二長調 Wq.183-1 F.J.ハイドン: 交響曲 第40番 へ長調 Hob. I:40 L.v.ベートーヴェン: 交響曲 第1番 八長調 op.21
第150回定期演奏会	7月17日(土曜)	F.メンデルスゾーン: 弦楽のためのシンフォニア 第3番 MWV N3 F.メンデルスゾーン: 弦楽のためのシンフォニア 第7番 MWV N7 L.v.ベートーヴェン: ヴァイオリンと管弦楽のためのロマンス 第1番 ト長調 op.40(独奏: 高木和弘) W.A.モーツァルト: 交響曲 第40番 ト短調 KV550
第151回定期演奏会	9月25日(土曜)	E.グリーグ: 組曲「ホルベアの時代から」 op.40 A.ドヴォルザーク: 弦楽セレナーデ op.22 A.シェーンベルグ: 浄夜 op.4
神戸市室内管弦楽団・ 神戸市混声合唱団 合同演奏会	12月12日(日曜)	G.F.ヘンデル: メサイア HWV56
第152回定期演奏会	2022年 2月26日(土曜)	W.A.モーツァルト: 歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」KV588より抜粋 (演奏会形式)

※上記公演全て指揮者は鈴木秀美、会場は神戸文化ホール中ホール、14:00開演